

危機下の子どもたち

以下の地図は、2018年末時点での世界における人道的危機、特に子どもたちとその家族に影響を与えている重大な危機を示している。

リビア

長期化する紛争、政治の不安定さ、公共サービスの崩壊、そして機能停止に陥っている経済は、160万人近い人々に影響を与えている。24万1,000人の子どもを含む推定82万3,000人が、人道支援を必要としている。

ベネズエラ危機

ラテンアメリカ・カリブ海地域の各国は、少なくとも240万人のベネズエラ難民・移民を受け入れている。予測のできない大量移民の発生は、受け入れているコミュニティの元々限られたサービスや制度を圧迫し、各国の対応力は限界にきている。

ウクライナ

ウクライナ東部で紛争の影響を受けるおよそ50万人の子どもたちは、きれいな飲料水、安全な学習環境、質の高い保健ケアや心理社会的支援を含む、緊急の保護や人道支援を必要としている。

チャド湖周辺地域（カメルーン、中央アフリカ、チャド、ニジェール、ナイジェリア）

カメルーン、中央アフリカ、チャド、ニジェール、ナイジェリアの2,100万人近い人々が、現在も続く紛争の影響を受けている。2018年、ナイジェリアでは毎週平均4,000人の新たな避難民が出るなど移動を強いられる人々が増加し、その多くは女性と子どもである。カメルーンでも、国内避難民が50万人近くにのぼり、彼らの状況は厳しさを増している。中央アフリカでは、子どもの3人に2人にあたる150万人の子どもが、2019年に人道支援を必要とすると思われる。



矢印は、紛争による隣国への人々の移動を表す。

本地図の縮尺は調整されており、正確ではない。

国境の法的地位に関して、ユニセフとしての何らかの立場を表明するものではない。点線で示されているのは、インドとパキスタンの間で合意された管理ラインである。ジャム・カシミール州の最終的な地位については、両者の間でいまだ合意されていない。スーダンと南スーダンの間での最終的な国境は、まだ決定されていない。

シリアと周辺国

シリアでの紛争が始まって8年近くが経過した現在も、1,310万人が人道支援を必要とし、そのうち560万人が子ども、49万3,000人が特に支援を届けるのが難しい地域に住んでいる。250万人以上のシリアの子どもたちがエジプト、イラク、ヨルダン、レバノン、トルコの難民キャンプで暮らし、彼らが必要とする保健や教育などの基本的サービスのニーズは、対応する機関やインフラの能力を超えている。

アフガニスタン

2019年は、増加する暴力や、干ばつや厳冬といった自然災害が必要な基本的サービスへのアクセスを妨げることで、380万人の子どもたちが保護や人道支援を必要とすると見込まれている。

バングラデシュとミャンマーのロヒンギャ危機

2017年8月以来、子ども40万人を含む73万人以上のロヒンギャの人々が、ミャンマーでの暴力から逃れてバングラデシュのコックスバザールに身を寄せている。ミャンマーでは、今も60万人のロヒンギャの人々が、自由な移動の制限や差別、基本的サービスの不足など非常に厳しい状況に直面している。

イエメン

紛争によって引き起こされたイエメンの人道危機は、2,200万人が人道支援を必要とする世界最大の緊急事態と呼ばれている。2019年には、200万人の子どもを含む約1,200万人が、食糧支援を必要とすると見られている。

コンゴ民主共和国

コンゴ民主共和国は、暴力と武力衝突の著しい増加に直面している。およそ1,280万人が食糧危機や急性栄養不良の危機に瀕し、この数は2017年から30%増えたことを示している。エボラ出血熱に感染した子どもは、現在も適切な支援を必要としている。

南スーダン

和平合意がなされたにもかかわらず、南スーダンの人道状況は依然として厳しく、ジェンダーに基づく暴力を含む暴力行為、深刻な食糧・栄養危機、経済的混乱、病気の流行などが続いている。450万人以上の人々が家を追われ、600万人が水と衛生サービスを必要とし、220万人の子どもが学校に通えていない。

エチオピア

子ども150万人を含む280万人が避難を余儀なくされ、影響を受ける人々の数は今後も増加すると見られている。エリトリアとの間で結ばれた和平合意によって、9月12日から10月20日までの間に1万4,000人の新たな難民が流入し、2019年も難民流入が続くと予想されている。

2019年 ユニセフ人道支援計画

『子どもたちのための人道支援報告書（Humanitarian Action for Children - HAC）2019年』より

以下の情報は、ユニセフの人道支援プログラムにおける国際社会への支援要請額、支援を提供すべき人々・子どもの数、および2019年の子どもたちのための人道支援計画の目標をまとめたものです。

支援要請額:



39億米ドル

支援対象人数:



7,300万人

支援対象のうち、
子どもの数:



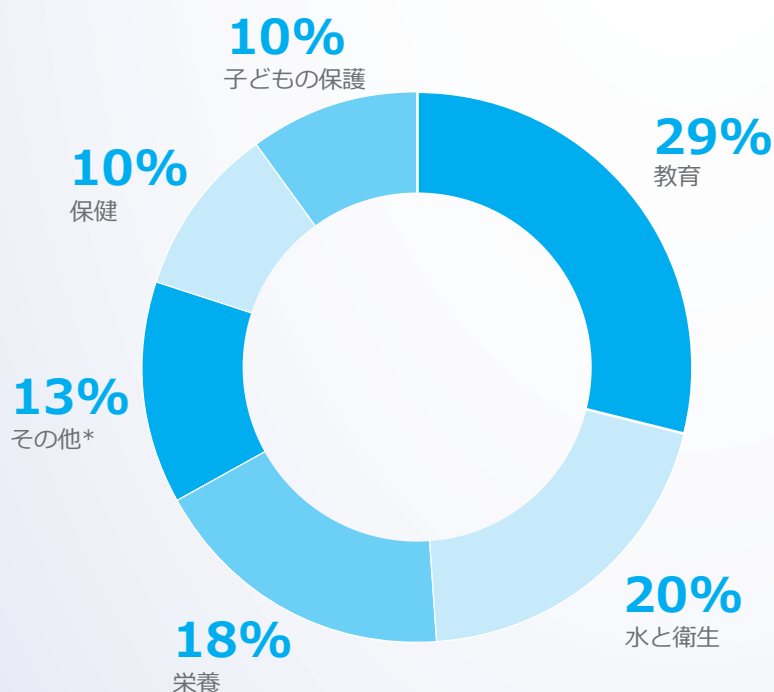
4,100万人

支援対象国:



59カ国

分野別資金配分:



* 他分野からの調整(4%)、地域での技術支援・備蓄・対応(2%)、給付金支援(2%)、非食糧支援物資(2%)、開発のためのコミュニケーション(1%)、緊急対応システム(<1%)、クラスター間の調整(<1%) の費用を含む。

ユニセフとパートナー団体の2019年
主な支援目標:



栄養

420万人の子どもに
重度の急性栄養不良の
治療ケアを実施



保健

1,030万人の子どもに
はしかの予防接種を
実施



水と衛生

4,280万人に安全な飲料水
や衛生的環境を提供



子どもの保護

400万人の子どもと保護者
に心理社会的ケアを提供



教育

1,010万人の子どもに
早期教育を含む公式または
非公式教育へのアクセスを
提供



給付金支援

190万人に給付金支援
プログラムを実施



非食糧支援

140万人に日用品・冬服・
住居を提供

2018年 ユニセフ人道支援活動報告

『子どもたちのための人道支援報告書（Humanitarian Action for Children - HAC）2019年』より

以下の情報は、2018年の最初の10カ月間で、ユニセフとパートナー団体が行った子どもたちへの人道支援活動の成果の一部をまとめたものです。不十分な人道アクセス、不安定な治安、活動実施の厳しい環境などの原因で、支援目標達成が厳しい状況にある分野があります。特定の国の指標など、2018年のより詳しい活動報告については、それぞれの国のウェブサイトからご覧いただけます。 <www.unicef.org/appeals>

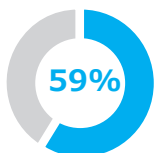


© UNICEF/UN0155427/MERCADO

栄養

260万人

重度の急性栄養不良の
治療ケアを受けた
子どもの数

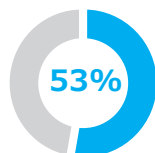


© UNICEF/UN0201084/KREPKIH

保健

470万人

はしかの予防接種を
受けた子どもの数

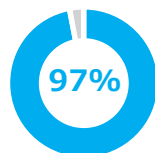


© UNICEF/UN0229508/NAFTALIN

水と衛生

3,530万人

安全な飲料水や衛生的
環境を使用できるよう
になった人の数

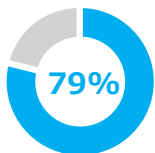


© UNICEF/UN0253241/GONZALEZ

子どもの保護

310万人

心理社会的ケアを
受けた子どもと
保護者の数

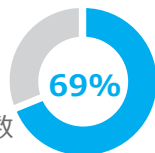


© UNICEF/UN0198367/NJIOKIKTJIEN

教育

590万人

早期教育を含む
公式または非公式
教育を受けた子どもの数



© UNICEF/UN0177798/ERGEN

給付金支援

110万人

給付金支援を受けた
人の数

